

# 環境史ワークショップ： 生物資源利用の持続と破綻をわけるもの 「考察」

辻野@地球研

# 個別事例研究の図式化

## ～生物資源を持続的に使うとはどういうことか

再生可能資源の利用速度は再生速度を超えてはならない

変動 { 社会・政治 ← 法制度  
思想 ← タブー・カミサマ  
戦争, などなど

### 生態系管理

### ガバナンス

利用速度

最大利用速度  
Min(需要, 技術)

技術力

1人当たりの  
影響 × 人口

経済

生物資源

生態系改変

= 土地利用 ← ガバナンス

{ 生物量Biomass  
面積Area

再生産速度

変動 { 気候  
天災

← 直接的制御  
← - 誘導できる(成否?)

# 個別事例，生物資源利用の持続と破綻をわけるものは何？

- ガバナンスによって維持
  - 琉球ジュゴン，御留山・御立山，宮座制度の山林管理，森林依存者自身による維持，
- ガバナンスの介入によって回復
  - はげ山に植林
- ガバナンスによって荒廃
  - 18c沖繩の伐採，冷害失政飢饉による森林収奪，当該森林非依存者による乱伐，
- ガバナンスが消失して荒廃
  - 明治ジュゴン，薄い免許規制による乱獲，
- 経済原理が駆動要因になって維持
  - WWII前の草原，吉野杉（酒飲み人口）
- 経済原理が駆動要因になって回復
  - 育成林業
- 経済原理が駆動要因になって荒廃
  - 高度成長後の草原，
- 技術革新や移転によって荒廃
  - 糸満漁の乱獲，縦挽鋸によるはげ山（資源シフト，マツ材），ヒバ林のチェーンソー，村田銃と乱獲
- 燃料革命によって荒廃した
  - 草原，里山森林
- 燃料革命によって回復した
- 再生速度が非常に低いために枯渴
  - 近畿の大径材，
- 自然災害が駆動要因になって荒廃
  - 冷害による自然収奪

- 「資源」plastic word, 希少性のあるもの
- 場の利用, 土地利用
- 破綻と持続を分けるもの
- 結果としてガバナンスだった
- Consumption per capita
- 破綻させる動きと持続させる動きのせめぎあい  
整理できるのではないか.
- 地域の森林を, 中の人の中の人のためにつかう,  
中の人を外の人のために使う, 外の人の中の人  
のために使う, 外の人を外の人のために使う
- 手法班(長い時間スケール)とのすり合わせ
- 個別事例の図式化は案外使える